

### 親しみのもてる新しい街並みの形成

- 並木道に沿った公共空間
  - ・町田駅前通りに沿って豊かな並木の歩道を計画し、並木に面して低層部を配置することで、高さを抑えた親しみのもてる街並みをつくります。
- 公園庁舎
  - ・街角広場から木漏れ日広場へと連続する公共性豊かな領域を展開し、新庁舎低層部と一体感をもたせ、気軽に立ち寄ることのできる公園のような都市的空間をつくります。
- 低層部と高層部からなる明かな構成
  - ・市民利用の多い低層部に面し、高層部が後に控えたわかりやすい構成とします。
  - ・開かれた議会とするために議場は低層部に配置し、同時に議場に特徴的な表現をもたせます。



町田駅前通りより見る



市民ホール側より見る



木漏れ日広場より見る

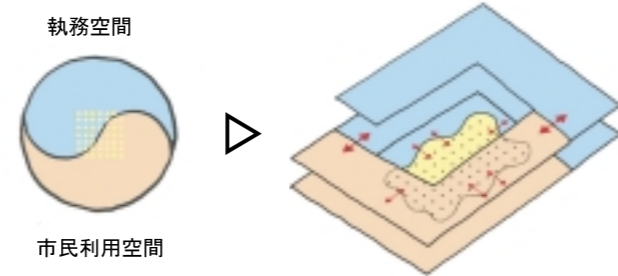


北側より見る

### 市民に開かれた、わかりやすい空間構成

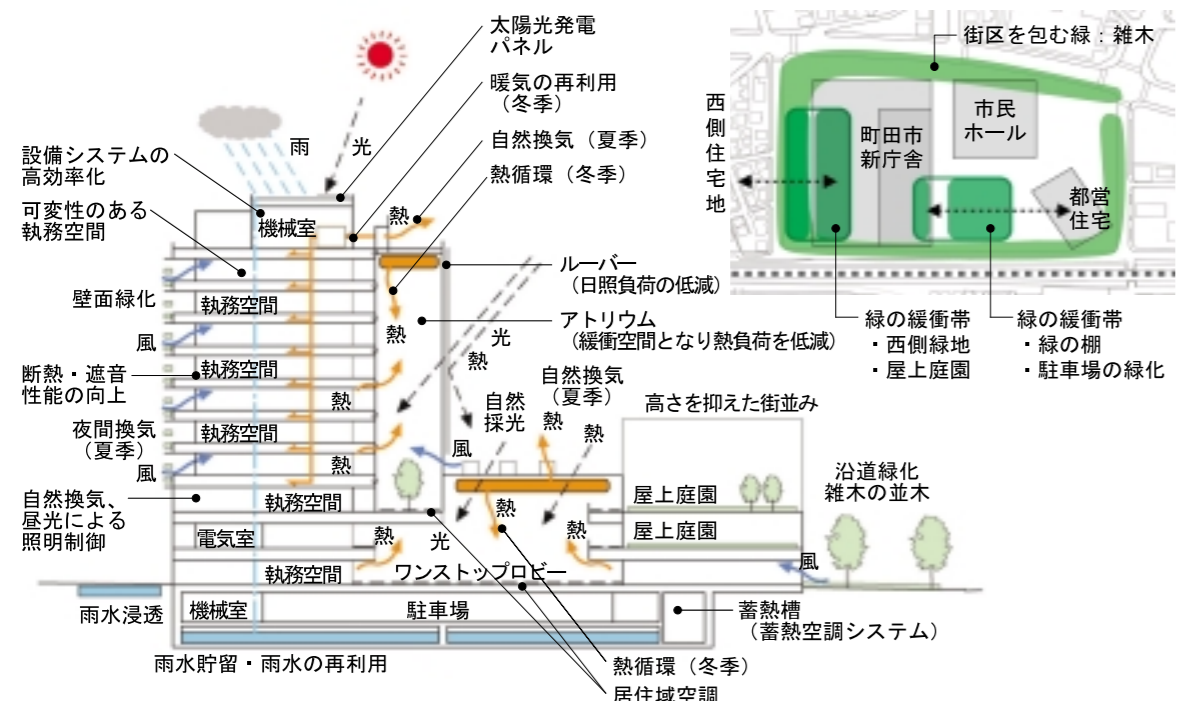


- 街の公会広場
  - ・低層部の中心に、一元化した窓口サービスを行うワンストップロビーを配置し、気軽さと品格を兼ね備えた街の公会広場(フォーラム)としての空間性を与えます。
- 回遊性のある空間
  - ・エントランスホール、ワンストップロビー、ラウンジなどの公共空間が小広場(木漏れ日広場)、屋上庭園と連携しながら回遊性を持って重層することで、様々な機能が認識しやすく、市民相互の交流を活性化できる空間を目指します。



- 巴型の配置
  - ・ワンストップロビーを囲むように、市民が利用する空間と窓口サービスを行う執務空間とを巴型に配置し、一体感のある領域をつくります。

### 緑に包まれ、環境に配慮した庁舎

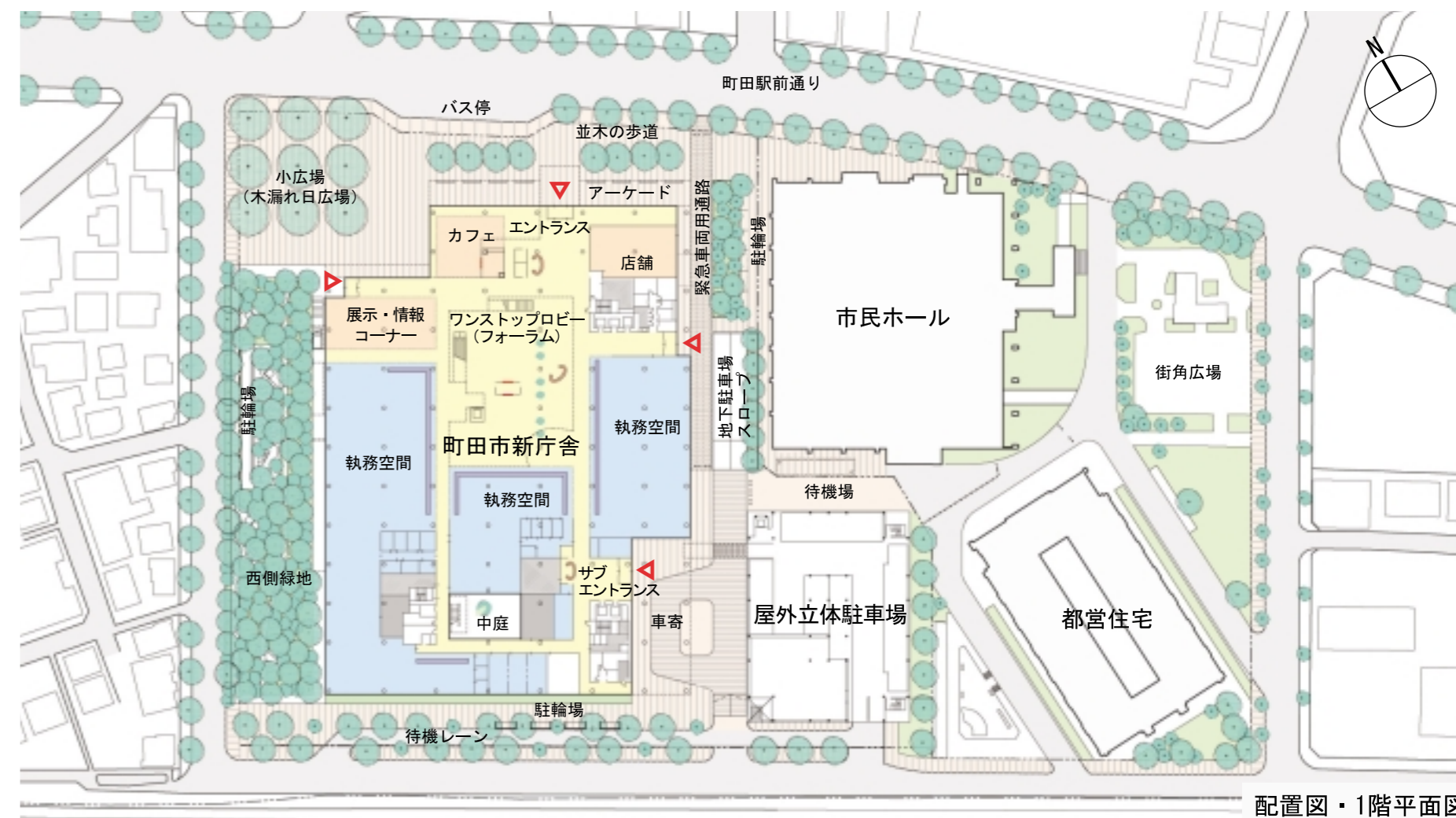


- 環境性能の向上
  - ・アトリウム(吹抜け空間)などを利用した自然換気や夜間換気による放熱、透明性の高い外装による自然採光・照明制御、太陽光等の自然エネルギーの活用、雨水利用、設備機器の総合的な運転管理によるコストの低減等を検討して省エネルギーを図ります。
  - ・緑化や日照調整のルーパーなどにより、熱負荷の軽減に配慮するとともに、それらを建築の表情をつくる要素として積極的に活用します。

- 立体的な緑
  - ・地上面の緑、屋上庭園、室内の植栽、壁面緑化などを通して様々な場所で緑が楽しめる庁舎を目指します。
- 街区を包む緑
  - ・街区を雑木と照葉樹で包む計画とします。西側に隣接する低層の住宅群に配慮し、奥行きを持った雑木林をもうけ、屋上庭園とともに厚みのある、緑豊かな環境をつくります。
- 長寿命化
  - ・将来の変化に対し柔軟に対応できる計画とします。
  - ・使用年数の長期化に配慮して計画を行い、ライフサイクルコストの縮減を目指します。



南側より見る



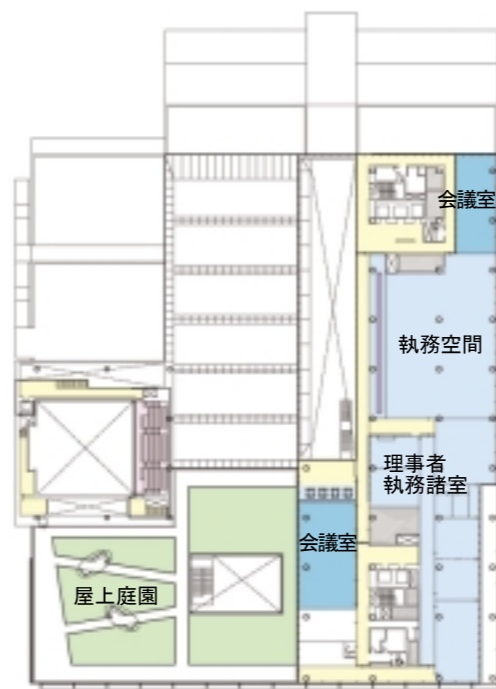
配置図・1階平面図



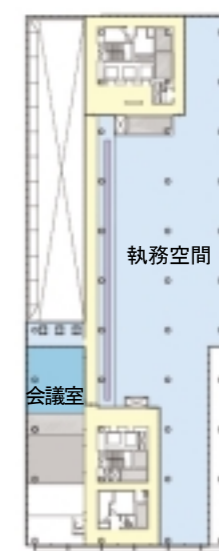
2階平面図



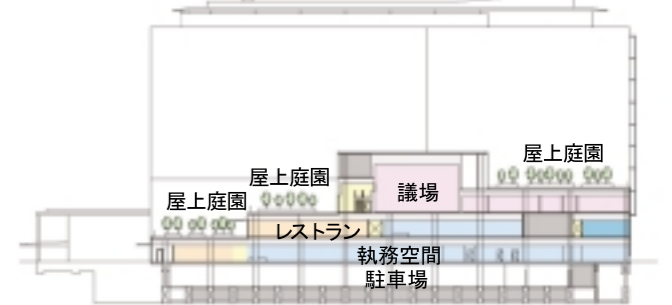
3階平面図



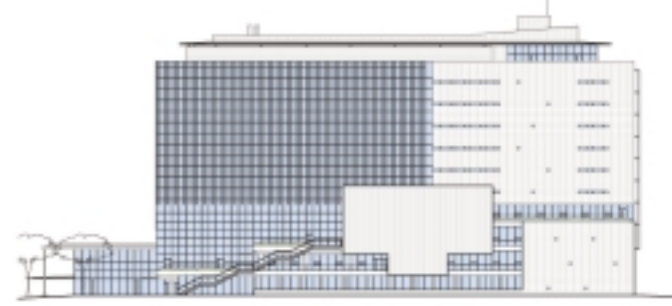
4階平面図



5~10階平面図



南北断面図



西立面図



北立面図



東立面図